

事務事業名	雲南ブランド化プロジェクト・雲南ブランド確立事業	所属部	政策企画部	所属課	政策推進課
政策名	総合計画 (VI) 推進計画・地域経営によるまちづくりの推進	所属G	雲南ブランド推進G	課長名	佐藤 満
施策名	(39) 計画的なまちづくり	担当者名	加藤雄二	電話番号 (内線)	0854-40-1011 3512
基本事業名	(117) 横断的プロジェクトの進行管理	予算科目	会計 款 項 目 中事業	雲南ブランド化プロジェクト	

1 現状把握の部

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③ 開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (19年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)	雲南市総合計画に定める優先プロジェクトを推進、実現していくため、第1期としてはH19~21年度で展開し、プロジェクトシンボルは、ブランドシンボル「幸運なんです。雲南です。」ロゴの露出をはじめ、ブランドブックの発刊、WEB発信などを展開。H23年度はブランドサイトの改修などに取組んだ。	H18年度の総合計画策定時に、施策全般の効果を高める横断的な施策として、地域ブランドの創造を盛り込んだのを契機に開始した。

(2) トータルコスト

		単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	全体計画
① 事業費の内訳 (概要)	財源内訳	国庫支出金	千円					
		県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円	8,000	2,000	7,841	4,550	3,000
		一般財源	千円	42	258			
	事業費計 (A)	千円	8,042	2,258	7,841	4,550	3,000	
② 延べ業務時間の内訳 (業務の流れ等)	人件費	正規職員従事人数	人	4	4	3	3	3
		延べ業務時間	時間	1,540	1,400	771	750	700
		人件費計 (B)	千円	5,874	5,443	3,039	0	0
	トータルコスト (A)+(B)	千円	13,916	7,701	10,880	4,550	3,000	

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

① 主な活動	23年度実績 (23年度に行った主な活動)	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>市外関係者協議</li> <li>プロジェクトチーム会議</li> <li>ブランドWEB事務</li> </ul>	⑤ 活動指標							
② 24年度計画 (24年度に計画している主な活動)	<ul style="list-style-type: none"> <li>雲南ブランドの情報発信の強化 (映像活用、企業との連携事業など)</li> </ul>	ア プロジェクトチーム会議開催回数	回数	3	10	11	10	10	
		イ							
		ウ							
		エ							
		オ							

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	市民	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
		⑥ 対象指標							
③ 意図 (対象がどのような状態になるのか)	① 雲南の幸に気づいてもらう。 ② 雲南市への憧れ・誇りを抱いてもらう。	ア 人口 (推計人口)	人	42,764	42,336	41,899	41,032	40,650	
		イ							
④ 結果 (どんな上位目的に結び付けるのか)	交流人口を拡大する。	⑦ 成果指標							
		ア 人口 (推計人口)	人	42,764	42,336	41,899	41,032	40,650	
		イ 年間観光入込客数	千人	884	885	1,000	1,000	1,000	
		ウ							
		⑧ 上位成果指標							
		ア 人口 (推計人口)	人	42,764	42,336	41,899	41,032	40,650	
		イ 年間観光入込客数	千人	884	885	1,000	1,000	1,000	

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況 (対象者や根拠法令等) はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者 (市民、議会、事業対象者、利害関係者等) からどんな意見や要望が寄せられているか?
開始時点ではコスト投入に対する反論もあったが、市民バスのラッピングや体感フェアの成功体験など、プロジェクトに関わる市民の輪が広がってきた。特に雲南の食に対する関心が内外から高くなってきている。	財政負担を考慮し、できるだけ一般財源に負担をかけないよう、特定財源の確保に取り組んできた。ウェブサイトのマップ機能、人の幸など改修を行った。高校3年生が雲南市に興味関心がもてるようバスツアーを実施した。	ふるさと教育や農商工連携など、地域の人々の営みや地域文化、風土など地域資源を使った取り組みを進めるべきとの気運が高まってきた。古事記編纂1300年に関する情報発信強化が議会より求められている。

事務事業名	雲南ブランド化プロジェクト・雲南ブランド 確立事業	所属部	政策企画部	所属課	政策推進課
-------	------------------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↘ ブランドの観点により庁内各部署が実施する観光や教育、産業振興などの関連事業を一体的に取り組む機運、市民の期待が確実に芽生えてきており、これらの一体的な事業展開によって総合計画の各施策の効果を総合的に押し上げる効果が期待できることから、政策体系に適合する。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↘ 雲南市総合計画で定めたまちづくりの基本理念に向かって政策誘導を積極的に行わなければならない時期であり、地方分権型社会に対応していくためには雲南市のアイデンティティ(自我)を確立していく必要があるため、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↘ このプロジェクトでは、雲南市そのものをブランド化することとしていることから、対象は適切である。また、雲南市の幸に気づいてもらい、憧れ・誇りを抱いてもらえるようになれば雲南ブランドが確立されることになるため、意図は適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↘ 事業の実施方法による成果水準の変動要素が特に大きい性質を有することから、成果の向上余地がないとは言えない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↘ 休廃止した場合は、総合計画に定める優先プロジェクト(雲南ブランド化)を具現化する手段を失ってしまう。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↘ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↘ この事業ではブランド確立を主眼においており、プロジェクト期間中にどれだけ確立できるかが重要であるため、連携事業はあるものの、ブランド確立のための類似事業はない。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↘ サイトの維持費は削減は難しいが、H23年度から実施しているサイトの更新に係る経費については、H24年度を一定の用途として実施することとしているので、H25からは削減できる見込み。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↘ 平成23年度から雲南ブランド推進グループが新設され、特に「見える化」に傾注するようトップより指示があったところ。情報発信に力を入れるためには、一定の業務時間が必要であり、現時点の削減余地はない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↘ このプロジェクトは、雲南市自体のブランド化を目指しているものであり、全体の施策効果を高めていくものであるため、適正である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	雲南ブランドの確立という点においては、3年間の集中的な取り組みの成果もあり、徐々にではあるが、浸透してきたように感じられる。しかしながら、まだ十分とは言えないため、引き続き基本方針に沿った展開を進めていく必要があり、特にWEB発信や映像を活用した情報発信に力を入れていきたい。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	●			維持			×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上	●																					
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 これまで取り組んできた活動成果を活かし、各部局で取り組みつつある具体的な活動による成果を押し上げることができるよう、今後も部局横断的に連携をしながら進めていく必要がある。アドバイザー招へい事業等を活用し、外部有識者の意見を取り入れながら更に雲南ブランド向上に取組んでいきたい。																							